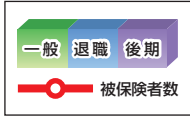
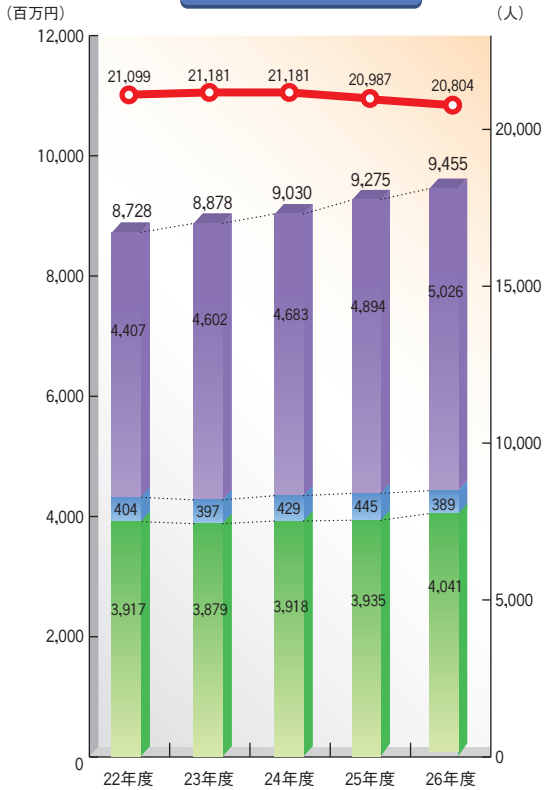


下野市

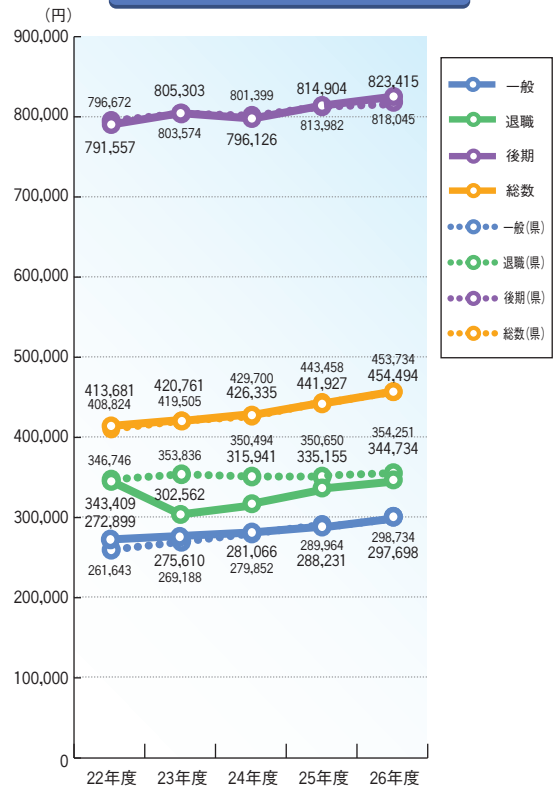
# 下野市



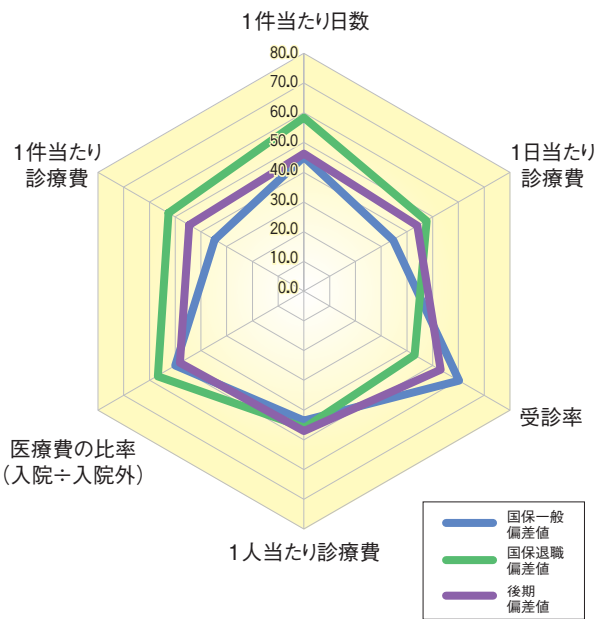
## 医療費の推移



## 1人当たり医療費の推移

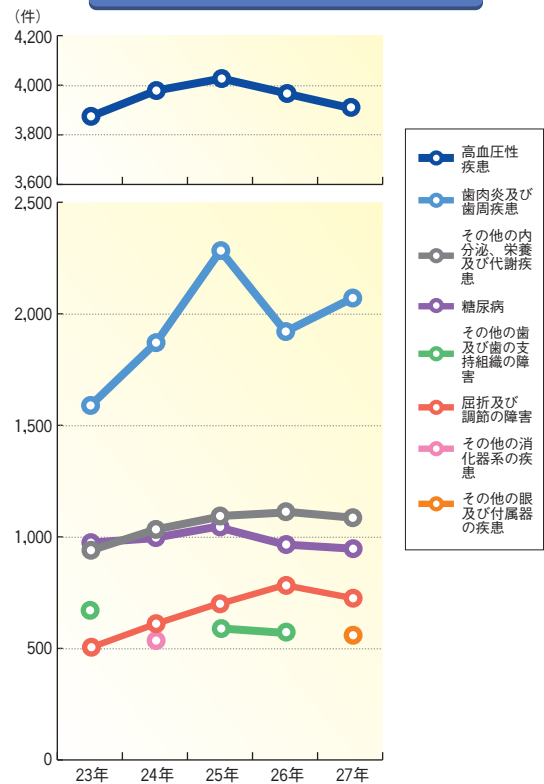


## 平成26年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

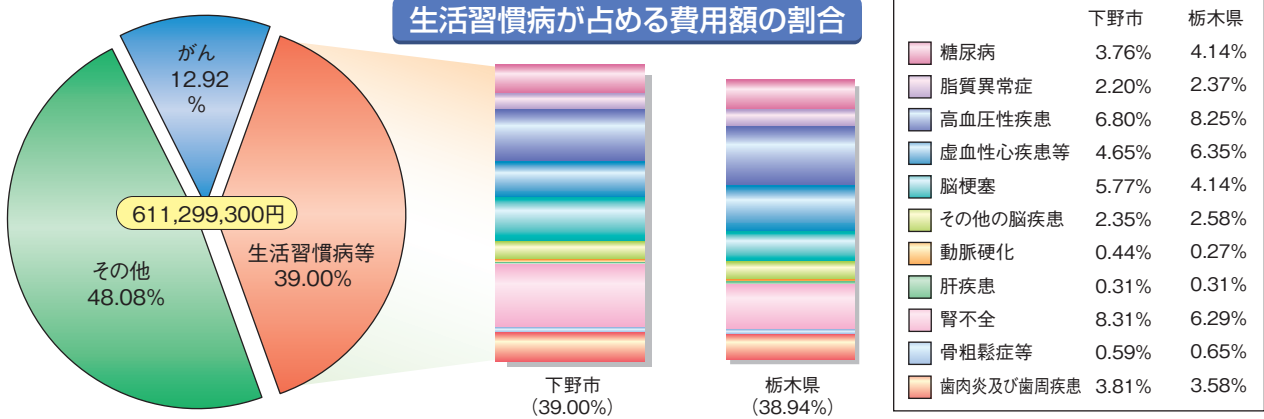
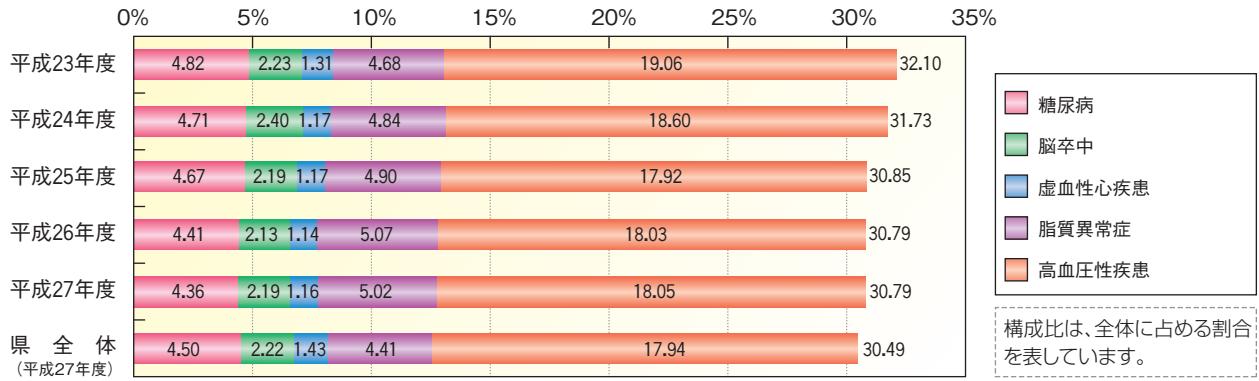


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

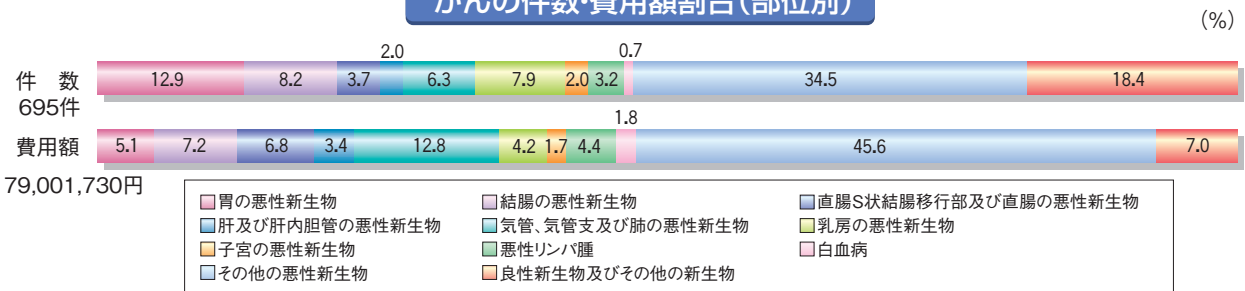
## 多受診疾病上位6位の推移



### 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



### がんの件数・費用額割合(部位別)



### 下野市の状況

#### ★医療費の状況及び被保険者数

平成26年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般4,040,650千円(102.7%)、退職388,515千円(87.2%)、後期5,026,127千円(102.7%)で、全体では9,455,292千円(101.9%)と増加している。( )は前年度との比較。

平成26年度平均被保険者数は20,804人で、内訳は一般13,573人、退職1,127人、後期6,104人である。前年度比較すると全体で99.1%と減少している。

また、平成26年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は454,494円(12,567円増)、一般は297,698円(9,467円増)、退職は344,734円(9,579円増)、後期は823,415円(8,511円増)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、1日当たりの診療費、1人当たりの診療費は、全ての項目において県平均を下回る低い偏差値となっており、一般の受診率は特に高い偏差値となっている。

#### ★疾病の状況

平成27年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位屈折及び調節の障害、6位その他の眼及び付属器の疾患で、過去5年上位5疾病に変動はなく、件数及び費用額についても特に大きな変動はない。

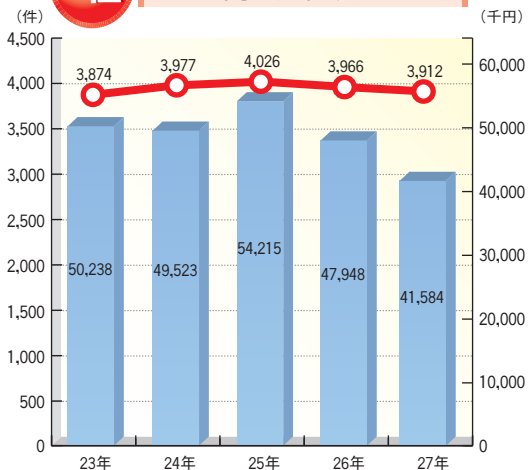
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、5大生活習慣病の構成比は平成23年度より年々減少傾向にあるが、県全体と比べると高い構成比となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成27年5月診療分の総費用額が611,299,300円で、がんが12.92%、生活習慣病関連が39.00%を占めている(県全体 がん11.90%、生活習慣病関連38.94%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患6.80%、腎不全8.31%、脳梗塞5.77%となっている。

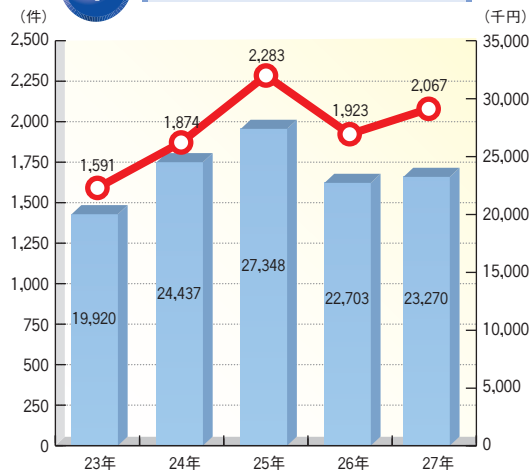
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

# 多受診疾病 上位6の年次推移

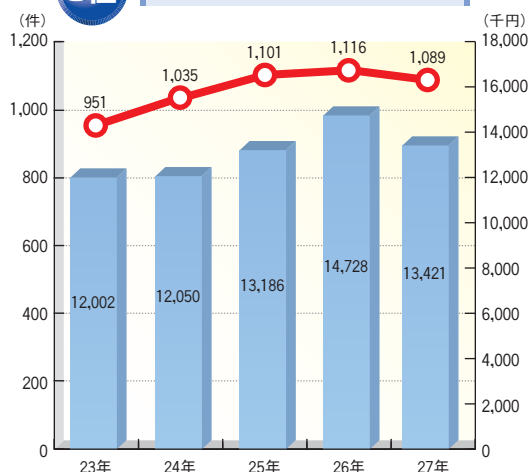
## 1位 高血圧性疾患



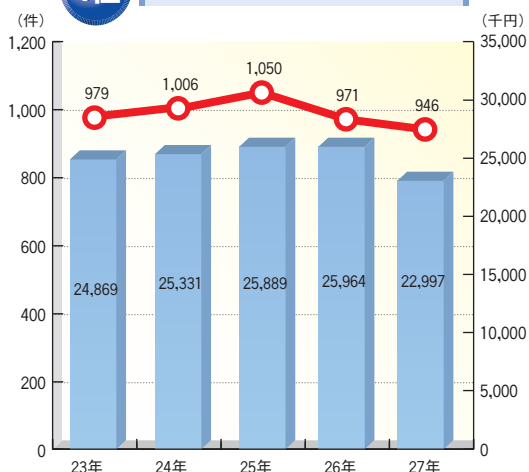
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



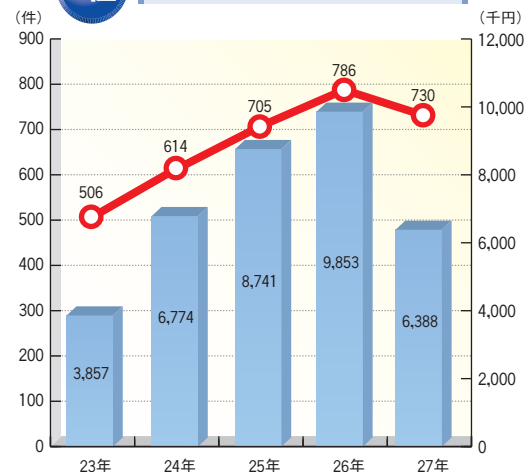
## 3位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 4位 糖尿病



## 5位 屈折及び調節の障害



## 6位 その他の眼及び付属器の疾患

